教育委員会の点検・評価報告書

（令和５年度対象）

令和６年８月

芝山町教育委員会

はじめに

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（平成 20 年 4 月1日施行）第26条第 1 項並びに第2項に基づき作成したものです。

また、点検・評価の具体的な項目や指標、議会への報告や公表の方法については、特に国が基準を定めることは行わず、各教育委員会が実情を踏まえて決定することとされています。

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（平成 20 年 4 月1日施行）

第26条第 1 項

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

第26条第2項

教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

「評価」欄の記載内容

評価の区分	評 価 の 内 容
◎ （達成）	優れた取り組みや状況等が見られ、課題はほとんどなく、順調に目標が達成された。
○ （概ね達成）	課題はあるが、良い取り組みや状況等が見られ、概ね目標が達成された。
△ （課題がある）	課題が少なからずあり、目標達成がやや順調でない、又は、一定の成果はあったが新たな課題が生じた。
× （達成が困難）	課題が多く、まだ改善に向けた取り組みに着手できていないか、着手してもほとんど成果が上がらないなど目標がほとんど達成できなかった。

令和６年度　芝山町教育委員会の点検・評価について

芝山町教育委員会（以下、教育委員会）は、本町の将来を担う子供たちに豊かな人間性を培うと共に、人生１００年時代における生きがいの実感と時代の変化への対応、さらには自分にふさわしい生き方を探るなど、町民のニーズに応えた学習環境づくりを進めています。更によりよい教育施策を探るために点検評価を行います。

〈 評価の流れ 〉

教育委員会内評価	教育長、教育課長、社会教育・文化振興担当課長、学校教育係長、給食センター所長、社会教育係長、文化振興係長で事業の評価を行う。
教育委員評価	教育委員に各係の事業の内容・自己評価を説明し意見と評価をいただく。
評価の了承	各教育委員の評価をまとめ、定例教育委員会において、内容の確認を行う。
学識経験者の知見の活用	学識経験者に意見を伺う。
教育委員会議議決	学識経験者の意見の説明と議会への提出や町民への公表に向け、内容の確認を行う。

◇点検・評価対象事業（令和５年度事業）について

令和５年度は、新型コロナウイルス感染症が５類に移行し、感染防止対策にとらわれることなく各事業を展開することができましたが、この点検・評価を踏まえ、教育委員会が行う事業の更なる充実を図っていきます。

Ⅰ　学校教育の充実

１　学校教育の総合的推進

取り組み内容	・自ら学び心豊かで芝山町を愛する児童・生徒の育成を目指します。 ・教育課程編成の工夫や学習指導要領への対応を図るとともに、特別支援教育を推進します。 ・児童生徒の健やかな成長のために関係機関との連携・協力に努めます。	担当課の評価 （学校教育係） 〇概ね達成している
委員会の評価 (課題問題点など)	一人一人を大切にしたきめ細かな指導で、自ら学ぶ力を育み、確かな学力を身につけさせようと努力している。学習指導要領に基づき、学習の意義を共有し、教材の選定・開発、授業改善を図る中で、①知識及び技能、②思考力、判断力、表現力等、③学びに向かう力、人間性の涵養等の力をより高めていく必要がある。 小・中学校ともに地域の教育力を活かした特色ある教育活動を実践するとともに、地域の伝統や歴史にふれる体験的な活動に取り組んでいる。 特別な支援を必要とする児童生徒に対応するため、町雇用の介助員を配置している。また、令和５年度より長欠・不登校児童生徒の心のケア等に対応するため、教育相談指導員を配置した。 教育委員会、保育所、幼稚園、保健センター、民生児童委員など、関係機関・団体が学校教育を支援しているが、課題を明らかにして連携していく必要がある。	

学識経験者の意見	・特別な支援を必要とする児童生徒への対応として、介助員や教育相談指導員を町独自に雇用することで、きめ細かな指導がなされていることに感謝いたします。今後も研修に努め、児童生徒が自主的に学習に取り組めるような環境づくりをお願いします。 ・コロナ禍が明け現場の対応は相変わらず大変なこととお察し致します。学校を見守っている関係機関とうまく協力体制を敷き(利用し) 多方面から俯瞰の眼差しをも持ち合わせた、児童生徒の成長に目を向けてくださいますことを願っております。 ・特別支援を要する児童生徒、また長欠・不登校児童生徒が安心して心を開ける場の更なる充実を願います。

2　学力向上のための指導・支援の充実

取り組み内容	・授業研究の励行や各種訪問等を通して、教職員の授業（指導）力を高めます。 ・少人数指導やティームティーチングなど、個に応じたきめ細かな指導を推進します。 ・町雇用の学習支援員を配置し、児童生徒の学力向上と教師が児童生徒と向き合う時間の確保を図ります。	担当課の評価 （学校教育係） 〇概ね達成している
委員会の評価 (課題問題点など)	小中学校では、町雇用の学習支援員を活用したきめ細かな指導・支援や町雇用の介助員を活用した特別支援教育が適切に実施されている。 更なる学力向上のために、全国学力・学習状況調査及び千葉県標準学力検査の結果を分析し、課題と対策を全職員で共通理解して日々の授業に努めている。 また、学習状況の積極的な発信や家庭学習の啓発など、家庭との連携が必要である。 県教育庁東上総教育事務所計画訪問や教育委員会訪問などをよい機会と捉え、小・中学校に対しては、授業研究や日々のＰＤＣＡサイクルの実践等により、授業（指導）力を高めるよう指導した。	
学識経験者の意見	・小中学校では、町雇用の学習支援員等多くの人が児童生徒の学習にかかわっていることがわかります。きめ細かな指導には、こうした態勢が欠かせません。ぜひ、今後も続けていただきたいです。学校では、授業改善の取り組みを更に進めると共に、家庭との連携を図るための情報発信をお願いします。 ・指導力の向上は教職員の永遠の課題かと思います。少人数指導、学習支援員配置、ＰＤＣＡサイクル実践等の前向きな姿勢は、児童生徒にも良い結果が得られていると思います。 ・教職員の自己研鑽の為にも、児童生徒と向き合う為にも充分な時間の確保が図れますようお願いします。	

3　個性や能力を伸ばす教育の推進

取り組み内容	・ＡＬＴを活用した外国語教育や国際理解教育を推進し、国際化・グローバル化に対応した教育の充実を図ります。 ・高度情報化社会に対応した情報教育の充実のため、ＩＣＴ利活用教育を推進します。 ・障害のある児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じ、保護者の理解のもと適切な特別支援教育を行います。 ・学校図書館の充実を図り、学校における読書活動の推進に努めます。	担当課の評価 （学校教育係） 〇概ね達成している
委員会の評価	町独自に各小中学校にＡＬＴ１名を配置（委託）し、中学校の英語並びに	

(課題問題点など)	小学校の外国語・外国語活動すべての授業が教師とＡＬＴによるＴＴ（ティームティーチング）で行われ、興味・関心の喚起や学力の向上を図っている。 　また、学習指導要領に定められている英語教育のほか、小学校１・２年生も裁量の時間を活用した英語学習（年１５時間程度）を実施しており、ＡＬＴの積極的な活用により小・中学校の児童生徒の英語への興味・関心づけ、学力の向上に取り組んだ。 　令和２年度にＧＩＧＡスクール構想により導入した一人一台タブレット端末の活用推進も含め、小・中学校へのＩＣＴ支援員の配置を継続した。 　特別支援教育については、外部関係者等による町教育支援委員会を年２回開催し、特別な指導・支援を必要とする児童生徒のスクリーニングと適切な対応について定期的な検討を重ねた。 　図書購入費（町費）を継続的に確保し、引き続き多くの新刊図書を購入することができた。
学識経験者の意見	・空港に近い町、としての特性を生かした教育活動がなされていると感じます。多様な教育的ニーズに応えていくことは大変だと思いますが、一人一人が生き生きと学校生活を送ることができるよう今後もお願いします。また、学校図書や図書館の充実を図り、子供たちの読書活動を支えるためにも司書の配置を考えていただきたいです。 ・国際化、特別支援の適切な実施も含め、ハード面の充実も図られていると思います。 ・授業研究、各種訪問等からの体験を、どうぞ児童生徒を偏らず、平等で公平な眼差しをもった人間として導きをお願いしたいところです。

４　豊かな心をはぐくむ教育の推進

取り組み内容	・人権教育、道徳教育などにより、豊かな心の育成を推進します。 ・積極的な体験活動の取り組みなどにより、キャリア教育を推進します。	担当課の評価 （学校教育係） ○概ね達成している
委員会の評価 (課題問題点など)	小学校では、（６学年）鎌倉・箱根方面への修学旅行、（５学年）県立東金青少年自然の家での自然体験学習や地域人材を活用した勤労生産体験（田植え・稲刈り）を実施し、豊かな自然の恵みの大切さ、それらに関わる人々の働く姿を目の当たりにすることができた。 　中学校については、（１学年）県内自然体験施設での校外学習、（２学年）山梨方面への自然体験学習、（３学年）鹿児島県奄美市への修学旅行の実施等により、各種体験活動を実施した。 　中学校１年生を対象に、航空講話を開催し、小学校６年生は航空事業の施設や職場見学を実施し、地域に根ざしたキャリア教育を推進した。 　県のバリアフリー教育地域拠点の指定を受け、車椅子体験等の障がい者に関する授業や外国人へのインタビューなどの国際交流活動を通して、他者理解を深め、豊かな心の育成となった。また、その成果が認められ、県から優秀校に選ばれた。	
学識経験者の意見	・ネット社会に生きている子供たちにとって、様々な体験活動を通して多くの人と関わることは、自身を成長させるために大切なことだと考えます。貴重な体験を日ごろの生活や学習にどう生かしていくか、明確なねらいを持ち、計画的に進めていただきたいと思います。 ・多方面にわたり児童生徒の体験活動をしてくださりありがとうございます。可能な限り積極的な体験を取り入れ、教職員も豊かさを共有して欲しいです。	

５　食育に関する指導の充実

取り組み内容	・「早寝・早起き・朝ごはん」を奨励し、栄養バランスを考慮した正しい食習慣を身につけます。	担当課の評価 （学校教育係）

	・地元の農水産物を学校給食に取り入れ、「食」を通じた郷土愛を育みます。 ・食物アレルギーに関わる適切な指導・管理をすすめます。	○概ね達成している
委員会の評価 (課題問題点など)	「早寝・早起き・朝ごはん」については、その必要性について給食だより等で、児童・生徒に周知し正しい食習慣を身につけられるように奨励した。 芝山産のコシヒカリ、ニンジン、スイカ等や山武郡内で生産された野菜を給食に使用し、献立表などで紹介することで地元農産物に対する意識や知識を高め、「食」を通じた郷土愛を育んでいる。 食物アレルギーへの対応としては、「芝山町小中学校食物アレルギー対応マニュアル」をもとに、年度始めに対象者のスクリーニングを行い、対象児童生徒を確実に把握した。また、マニュアルを各学校へ周知することにより食物アレルギーに対する指導・管理の徹底を図った。	
学識経験者の 意見	・自分の健康や郷土の農産物についての知識や意識を高め、正しい食習慣を身に付けるには、子供たちだけではなく各家庭の協力が欠かせません。家庭教育学級など、様々な機会を利用して啓蒙に努めていただきたいです。食物アレルギーを持つ児童生徒に対しては、引き続き学校・家庭・給食センター等の連携を図り、安全に配慮してください。 ・食物アレルギーの対応等もある中、昨今の値上がりと、更なる課題も重なっていることと思います。農産物に目を向け、郷土愛にも育まれ食習慣の充実度が高いと感じます。 ・児童生徒が本当に、食べることが楽しい！と喜ぶ顔を守っていただけますようこれからもお願いします。	

6　安全教育の推進

取り組み内容	・児童生徒の安全を守り育むため、学校・ＰＴＡ・地域が協力し、地域ぐるみの取り組みを実施します。 ・子どもの安全に関し、意見交換や情報共有を行い、相互理解を深め、よりよい環境づくりに努めます。	担当課の評価 （学校教育係） ○概ね達成している
委員会の評価 (課題問題点など)	スクールバス、自転車、徒歩と通学形態が様々な状況にあるが、地域ボランティアの協力を得て防犯パトロールを実施している。 例年、関係機関（県警、県土木事務所、町まちづくり課、学校管理職、町教委）合同で実施している通学路の点検に関しては、９月に実施し、通学路の状況確認と対応策を検討するとともに、各機関で早期の対策実施に取り組んだ。	
学識経験者の 意見	・定期的に防犯パトロールをしていただいていることは、大変ありがたいです。パトロール中危険だと感じたこと等の意見をもとに、今後とも安全対策（歩道・防犯灯・防犯カメラ等）に取り組んでいただきたいと思います。 ・多岐にわたり心配りをありがたく思います。 ・やりすぎるという事は無いのかも知れません。引き続き情報の共有等を密にして推進を願います。	

7　開かれた学校づくり

取り組み内容	・地域や家庭の学校行事への参加、学校評価への参画機会をつくるなど、開かれた学校づくりに努めます。 ・学校施設の開放に努めるとともに、地域と連携した開かれた学校づくりを推進します。	担当課の評価 （学校教育係） ○概ね達成している

委員会の評価 （課題問題点など）	児童生徒・保護者・教職員・学校関係者の学校評価を踏まえた学校運営をすすめている。 入学式・卒業式や運動会等の各種行事を実施し、中学校は合唱コンクールを３年振りに文化センターで開催した。 学校を核とした県内 1000 か所ミニ集会や家庭教育学級等を開催した。
学識経験者の意見	・コロナ禍で実施できなかった学校行事への参加が少しずつできるようになったのはよかったです。学校の様子を地域の方々に知ってもらうと共に、地域みんなで子供たちを育てていく、という意識を培っていけるよう、集会等内容を工夫して開いていただきたいです。 ・芝山は比較的開かれていると思います。だからこその相互理解の上での学校運営を願います。 ・町の人たちの児童生徒を応援したい気持ちをうまく活用していただけますよう願います。

８　学校施設の整備

取り組み内容	・環境整備を計画的に推進し、小・中学校や給食センターの施設・設備の保全及び修繕に努めます。 ・社会の変化に対応して、ＩＣＴ機器の環境整備をすすめます。	担当課の評価 （学校教育係） ○概ね達成している
委員会の評価 (課題問題点など)	安心・安全な給食を提供していくために給食センターの建替に向けて整備基本計画を策定し、令和８年度完成に向けて進めている。 中学校のトイレについて、誰もが利用しやすいトイレを目指して洋式化するとともに、感染症、老朽化対策を目的とした改修工事に向けて実施設計を業務委託した。 ＩＣＴの効率的な活用を図るために、電子黒板導入に向けて学校でデモを行った。	
学識経験者の意見	・児童生徒が安心して気持ちよく過ごせるように、必要なところから計画的に環境整備を進めていただきたいです。ＩＣＴの活用についても、効果的な利用法など研修を進め、誰でも同じように使えるようにしていただきたいです。 ・トイレは良かったと思います。 ・ＩＣＴの環境整備は、社会の変化を見極めながら、児童生徒にふさわしい状態の提供を願いたいところです。	

Ⅱ　生涯学習の充実

１　生涯学習機会の充実

取り組み内容	・ライフステージに応じた学習機会を提供することができるよう各種学級・講座の充実を図ります。 ・文化活動や健康づくりなど多様な学習ニーズに対応した学習機会の提供に努めます。 ・学習の成果を活かせるよう、発表の機会の提供に努めます。	担当課の評価 （社会教育係） ○概ね達成している
委員会の評価 （課題問題点など）	公民館では、生き甲斐学級・各種講座の充実に向けアンケートを実施し、講座の選定を行い、コロナ禍前と同様に開催することができた。令和５年度は、新たに小中学生を対象とした講座（「小学生夏休み書道教室」や「書き初め教室」、「夏休み俳句教室」）を開催した。 文化活動など各種団体のリーダーを中心に自主的な運営が見られてはきているが、未だ行政支援が必要な状態にある。	

学識経験者の意見	・ご担当者様が多岐にわたって、講座等を提供して下さっているのを感じます。 ・文化活動というのは、目立たずこつこつ積み上げていくものなので派手さはありませんが、じっくり構えて長年かけて進む講座を小中学生にもお伝えする橋渡しが出来ると、継承にも繋がるのかも知れません。一考願いたいところです。 ・町民の希望に沿う形で様々な講座が開かれていることはよいことだと思います。これらの活動の様子を広報等で紹介し、多くの人に興味を持ってもらえるようにし、今後も活動の幅を広げていただきたいです。

2　生涯学習設備の整備

取り組み内容	・地域における生涯学習拠点施設として、公民館の施設・設備の充実に努めるとともに、必要な機能を検討し、その結果に沿った整備を図ります。	担当課の評価 （社会教育係） ○概ね達成している
委員会の評価 (課題問題点など)	当該年度の主な整備は、中央公民館自動火災報知設備受信交換工事、非常照明取替工事などの老朽化に伴う改修を計画的に行い、軽微な修繕については、迅速に対応している。 今後は、生涯学習社会の進展に伴い、多様化する学習需要に応えるべく、個別施設計画に基づき、機能的な改修を検討していく必要がある。	
学識経験者の意見	・確かに公民館は老朽化していると感じます。が、改修、修繕はしていると考えます。これからも、安心して、継続的に活動の出来る場所の観点から改修改善と、手を加え続けて下さることを願います。 ・公民館の老朽化に伴う改修は今後も必要だと思います。町には「やすらぎの里」もあるので、講座によっては場所の変更も考えてはどうでしょうか。また、交通手段についても考える必要があるのではないかと思います。	

3　生涯学習推進体制の整備

取り組み内容	・芝山町生涯学習推進のあり方を検討し、推進体制の整備を図ります。 ・広報による生涯学習情報など、町民に対する幅広い学習情報の提供と相談体制を整備します。 ・生涯学習の推進に向け、各種事業のより効果的な方策の実践を検討し、生涯学習活動を支援するリーダーの育成と人材確保を図ります。	担当課の評価 （社会教育係） ○概ね達成している
委員会の評価 (課題問題点など)	公民館では、講座受講者にアンケートを行うなど町民のニーズを調査した上で、生涯学習の場の提供等に努めている。 各種団体に対し、リーダーを中心に組織運営を実施し、自主的活動ができるよう積極的に支援している。 各種学級・講座におけるリーダーの育成・人材の発掘、また確保がどの団体ともに必要であり、町内のみならず近隣市町との連携・協力を推進していくことが大切であると考える。	
学識経験者の意見	・生涯学習の推進体制として、ある程度、受け皿は整っていると感じます。ただ町民の理解と、士気に火をともすところまで届いていないのが残念です。あの中学校の合唱祭の盛り上がりを生涯学習の場にも欲しいところです。 ・会員増強には、公的なバスを細い道まで巡回する等のサービスがないと厳しいのかも知れません。 ・自分が学びたい講座がいろいろとあるのは町民にとって嬉しいことです。ただ、リーダーとなる人材の育成は、簡単ではないと思います。リーダーの負担が大きくなりすぎないよう、引き続き支援をお願いします。	

Ⅲ　家庭教育、青少年の健全育成

１　家庭教育の充実

取り組み内容	・小・中学校における家庭教育学級の実施により、親の学習機会の充実を図ります。 ・情報提供や相談体制の整備を進める他、父親が家庭教育へ参加しやすい環境整備に努めます。 ・親子で体験活動ができる「若竹塾」の充実を図り、良好な親子関係づくりの一助とします。 ・子ども達の人間形成には、「家庭・学校・社会」の三者が教育機能を発揮して総合性をもって行うことが不可欠のため、関係機関・団体と連帯感のある有機的なまとまりの形成を図ります。	担当課の評価 （社会教育係） 〇概ね達成している
委員会の評価 (課題問題点など)	令和５年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、休止としていた家庭教育学級について、小・中学校での実施の機会はなかったが、親子体験教室である「若竹塾」にて開催することができた。 「若竹塾」の開催は年間で５回実施した。千葉県動物愛護センターと連携した事業について、保護犬とのふれあい等を通じて、動物愛護への親しみや命の大切、親子で将来の職業観の共有、使命感を身に付けた人材育成の醸成を図ることができた。その他、千葉県警察本部（成田国際空港警備隊・山武警察署）や山武広域行政組合（芝山分署）との外部機関や、はにわ博物館や芝山文化センターとの内部機関と連携した「若竹塾」も併せて実施し、地域資源を幅広く活用し、父親や母親も参加しながら子供と一緒に体験できる活動の場を設けたことで、親が子供の育成等に携わる学習の機会を設けることができた。 芝山町子ども会主催にて、千葉県内の子ども会組織では「初」となる航空会社（スプリング・ジャパン(株)）との連携による、英会話イベントを開催。同イベントでは、同社の現役 CA を講師役として英会話レッスンやゲーム形式での英単語当てクイズ、救命胴衣着用体験を通じて、「自主性・自立性・思いやり・郷土愛・創造力」などを育むことができた。更に、子ども達が英会話をより身近に感じられるように、実際に、成田国際空港第３ターミナルのチェックインカウンターを使用し、英語アナウンスによる搭乗手続きや、同社が管理するモックアップ（訓練用機体）にて、現役 CA 指導のもと、機内サービスの対応等、学校とは異なる環境・視点で取り組み、芝山町子ども会でしか体験できない学習コンテンツで英会話への親しみ・航空業界への興味・引き出しや国際感覚を身に付けた人材の育成等の醸成について図ることができた。 公民館では、保健センターと連携して、赤ちゃんに絵本をプレゼントするブックスタート事業を行っている。	
学識経験者の意見	・若竹塾の充実は発展性のある良いことだと思います。児童生徒のわくわく感向上のみならず、関わる大人達をも幸せにする活動と認識しています。これからも色々な取り組みを期待します。 ・若竹塾や子ども会では外部団体や人材を活用して多様な活動を展開しており、今後も子供たちの体験の幅を広げてくれることを期待しています。こうした活動に参加しない(できない)家庭も少なくないと思います。そうした家庭への働きかけについても考えなければいけないと思います。	

２　青少年の健全育成

取り組み内容	・子ども会や青少年相談員の育成を図り、地域における青少年活動の活発化を促進します。 ・体験学習やボランティア活動など、青少年の地域参加を図る学習機会の提供に努めるとともに、	担当課の評価 （社会教育係） 〇概ね達成している

	文化イベントや幅広い交流活動を促進します。 ・郡ジュニアリーダー研修会や各種イベントへの参加などを通じて、ジュニアリーダーの養成・確保に努めます。 ・青少年の健全育成に向けて、育成環境の整備に努めます。	
委員会の評価 (課題問題点など)	様々な体験活動の提供は、子どもたちが地域住民や異世代との交流を深め、コミュニケーション能力や社会性を育むことができる大切な場所となっている。 千葉県ジュニアリーダー研修会に、芝山町から１名の参加があり、数年ぶりに中級のジュニアリーダーの認定者を輩出することができた。 町青少年相談員主催で、小中学生を対象とした、潮干狩り体験教室やスポーツ交流会等事業を開催し、子どもたちの社会性・協調性等を養うことができた。また、殿塚・姫塚古墳及び通学路の清掃などの事業を行い、青少年育成環境の整備を図った。 また、積極的に育成者向けの講習会に参加し、役員としての資質や意識の向上に努めた。	
学識経験者の 意見	・子ども会や青少年相談員様も人数の減少傾向にあろうかと思います。そのなかでの研修会、清掃活動ご苦労様です。リーダー資格の方等の勉強のアウトプットの機会を設けながら、健やかな活動を願います。 ・地域の子供たちに様々な体験活動の場を提供していただき、感謝いたします。今後はこうした体験の良さを各家庭に広め参加者を増やすことや活動を支える地域の人材の確保についても考えていかなければと思います。	

Ⅳ　スポーツ・レクリエーションの振興

１　スポーツ・レクリエーション活動の推進

取り組み内容	・町民が気軽にスポーツ・レクリエーション活動ができるよう、各種教室や大会等の拡充を図ります。 ・気軽に参加できる仕組みづくりに努めます。 ・スポーツ協会・スポーツ推進委員会や各種スポーツ団体の支援に努めます。 ・スポーツ少年団を支援し、青少年のスポーツ活動の充実に努めます。 ・スポーツ・レクリエーション種目の多様化に対応した指導員確保や人材バンク制度の検討など、スポーツ指導体制の充実を図ります。 ・子どもから高齢者まで参加できる新しいスポーツの普及・振興やスポーツによる交流を図ります。	担当課の評価 （社会教育係） ○概ね達成している
委員会の評価 (課題問題点など)	若者から高齢者まで、スポーツを通した健康増進の大切さが求められており、様々な競技団体が活動している。しかし、人口減少、少子高齢化により、競技愛好者が減少しつつあり、どのように競技愛好者を増加させるかが課題となっている。 町スポーツ推進委員会では、ボッチャ交流大会を開催。老若男女関わらず、幅広い年代が集まり、健康増進や競技者同士の交流を深めることができた。 町スポーツ協会では、これまでのブロック対抗による町民体育祭の開催方法を見直して、オープン参加方式による「芝山スポーツフェスティバル」にリニューアルして開催することができた。また、スポーツ大会として「モ	

	ルック大会」を初めて開催した。 　ともに、多くの参加者があり、新たな町のスポーツイベントとして定着化を図っていきたい。そのほかに、町ソフトボール大会やゴルフ大会等、各種大会が開催され、各スポーツ・レクリエーションの充実を図ることができた。
学識経験者の意見	・芝山町はとてもスポーツ活動に力が入っていると感じます。今後ともイベント開催等お願いします。 ・少子高齢化により気軽に楽しめるスポーツが好まれているのではないかと思います。そうしたスポーツの紹介も兼ねた大会を今後も企画していただきたいです。「芝山スポーツフェスティバル」は、始まったばかりの新しい試みです。参加者の声を聞きながら改善点を探り、交流の場として定着できればよいと思います。

2　スポーツ・レクリエーション施設の整備

取り組み内容	・生涯スポーツの拠点として総合運動場を位置づけ、町民が利用しやすい施設改修と維持・管理を図ります。 ・身近なところで気軽にスポーツ・レクリエーション活動ができるよう、多目的に利用できるスポーツ広場等の整備や学校施設の活用を図ります。	担当課の評価 （社会教育係） ○概ね達成している
委員会の評価 (課題問題点など)	令和５年度に行った施設整備は、総合運動場浄化槽のブロワー・ポンプの改修とトレーニングセンター、武道館の消防誘導灯の修繕を行なった。 良好な「施設環境」と「安全」を維持し、老朽化している設備を限られた予算の中で計画的に改修を行うことが出来た。 今後は個別施設計画と施設の利用頻度などを基に施設の必要性を総合的に判断しながら、適正な施設の改修・維持に努めていく。	
学識経験者の意見	・施設整備は、色々修繕が行われていると思います。活動する上で要となることですので、これからも目を光らせて下さいますよう願います。 ・改修改善してバージョンアップしたことをアピールしながら、スポーツ人口の増加に繋がるといいと思います。 ・老朽化の目立つ施設もあるかと思います。使用頻度や人数を考慮した上で施設の集約も考える時期に来ていると思います。	

Ⅴ　文化と感性を高めるまちづくり

1　個性ある地域文化の創造

取り組み内容	・文化活動の指導者、後継者の育成や自主的な文化芸術活動グループの活性化を図ります。 ・町民の文化芸術活動の成果を発表する機会を増やし、交流・研鑽の場の充実に努めます。 ・質の高い文化芸術の鑑賞会の提供や、芸術家との交流を通じた環境づくりを推進します。 ・地域の文化芸術活動の拠点施設として文化センターがもつべき機能を検討し、施設・設備の充実に努めるとともに、運営体制の充実に努めます。	担当課の評価 （文化振興係） ○概ね達成している
委員会の評価 (課題問題点など)	文化センター自主事業として、新春寄席、小学校芸術鑑賞教室、コンサートを実施した。 笑点メンバーなどが出演した恒例の新春寄席では、町内外から５２１名が来場し、７０歳以上の町民の無料招待者はうち９２名であった。 小学校芸術鑑賞教室については、芝山小学校全児童を対象に、劇団ポプラのミュージカル「オズの魔法使い」を上演した。プロジェクションマッ	

	ピングを取り入れた内容で、小学生はもとより教員からの評判も良かった。 　コンサートについては、宝くじの助成を受けて「オーケストラで歌う昭和ポップス」を公演した。チケットの売れ行きはとても好評で完売となり、７６２名が来場した。 　ホールの利用率を高めることを目的として、初の試みとなるピアノの無料開放や、若竹塾とタイアップして参加者と舞台裏を巡る「バックステージツアー」を行った。 　その他にも貸館事業として、コロナ禍では中止となっていた文化協会の芸能発表会やクリスマス音楽会などが行われ、地域住民に文化活動の発表の場を提供することができた。また、合唱祭や吹奏楽コンクールのリハーサル会場として多くの学校の招致に成功した。 　文化センターの改修等については、交換が必要となっていた舞台吊物装置ワイヤロープの取替工事を行い、利用者が安心して安全に使用できる環境づくりを目指した。 　コロナ禍以前の使用状況に戻りつつあるなかで、現在ある施設の整備、有効活用等に努めることができた。
学識経験者の意見	・文化センターの自主事業が大盛況で良かったです。 ・たとえば合唱祭のような、多くの町民がステージ上にあがれるようなイベントが企画されたら、渋滞している案件の風穴となるかもしれないと一人ほくそ笑んでおります。 ・町民にとって近くで質の高い文化芸術に触れることができるのは、ありがたいことです。コロナ禍以前の状況に戻りつつある今、文化センターの有効活用に努めていただけたらと思います。

２　郷土意識の醸成

取り組み内容	・今日まで伝えられてきた祭りや民俗文化、年中行事などの無形の文化資源を見直し、郷土文化の継承と活用を推進します。 ・埴輪と古墳を積極的に活用しながら現代的価値を見いだし、個性あるまちづくりと新たな文化の創造につなげます。	担当課の評価 （文化振興係） 〇概ね達成している
委員会の評価 (課題問題点など)	郷土の歴史や伝統を継承することにより、郷土意識の醸成を図ることは重要である。町内各地区の歴史研究と文化財保護・活用を目指して「しばやま郷土史研究会」の活動を支援することができた。 　また、成田国際空港の機能強化により移転となる地区の記録を残すため、しばやま郷土史研究会にて菱田地区及び白桝地区の調査を実施した。令和６年度以降も調査を継続していく。 　用地移転地区の記録のため、令和３年度に映像記録を作成したが、コロナ禍ということもあり撮影できなかった行事等もあったため、令和５年度に再度撮影を実施した。この件は朝日新聞や千葉テレビ等の報道機関の取材を受けるなど反響があった。 　白桝粉屋おどりの歴史や踊りを小学生にも知ってもらうため、芝山小学校と協力し総合的な学習の時間に授業を実施した。今後も小学校での事業は継続しつつ、白桝粉屋おどり保存会の意向を確認しながら保存・伝承の支援をしていきたい。 　郷土意識は、短期間に醸成される性質のものでないため、継続して推進し、郷土の歴史や伝統を守り続ける手助けをしていきたい。	
学識経験者の意見	・郷土文化は豊富だということを改めて感じます。 ・はにわ、古墳、仁王尊、既に全国規模の白桝粉屋踊り、そして国際空港と、この恵まれたツールを持つ芝山町を今一度町民自らが見直し、その価値を再認識し、町民それぞれがアンバサダーとなれると、発展間違いなしかと思います。うまく進められることを願います。	

	・空港の機能強化による移転等で変わりつつある町の様子を記録として残すことは意義深い活動だと思います。町の良さや歴史を、次代を担う子供たちに知ってもらうためにも、地域の伝統芸能や行事、はにわ祭りなど学校・家庭・地域で一体となって行うことが大切だと思います。

3　歴史文化資産の継承

取り組み内容	・開発に伴う埋蔵文化財の調査と保護を図るとともに、指定文化財の保存・継承に努めます。 ・郷土や埴輪に関する関心と理解を深め、はにわのまちとして文化をテーマとし、芝山古墳・はにわ博物館の活用と積極的な情報受発信に努めます。 ・「博物館友の会」「しばやま郷土史研究会」を中心に地域に根ざした歴史文化活動を行っている人材・グループの育成や文化財・歴史ボランティアの養成・確保等を図ります。	担当課の評価 （文化振興係） 〇概ね達成している
委員会の評価 (課題問題点など)	価値観が多様化する人の生活のなかで、文化財や伝統文化は、強い意識をもって保護に努める必要がある。 令和5年度の博物館入館者は 13,785 名で、前年度 12,882 名と比較して微増（7パーセント増）となっている。ゴールデンウィークや夏休み期間中には、勾玉づくり体験教室を実施した。 令和3年度より、文化庁及び千葉県教育委員会と共同で進めてきた重要考古資料調査の成果を基に、令和6年3月15日、国の文化審議会において殿塚古墳・姫塚古墳出土埴輪の国重要文化財指定が答申された。 芝山公園内にある「千葉県指定有形文化財　旧藪家住宅」は令和3～4年度で改修工事を実施した。往時の姿を取り戻した旧藪家住宅の価値や魅力のPRのため、パンフレットを作成した。 開発行為等に伴う事前調査として文化財保護法に基づく埋蔵文化財（遺跡）の確認調査４件・本調査１件を実施した。過去の発掘調査成果を収録した『芝山町埋蔵文化財調査報告書』は、第１５集を刊行した。 殿塚古墳・姫塚古墳出土埴輪の国重要文化財指定を受けて、今後は芝山町の宝である「殿塚」「姫塚」周辺の保護・整備とともに、質・量ともに東日本有数を誇る埴輪や副葬品の更なる整理を進め、地域歴史資産として総合的に評価することが重要であると考える。	
学識経験者の 意見	・この重要文化財指定を弾みに、この多彩な郷土芝山を輝ける地にする事に邁進願います。 ・芝山町には古墳をはじめ多くの文化遺産があるので、それらを関連付け、歴史を感じながら散策できる道の整備等、知名度を上げる工夫も必要かと思います。町の良さを知ってもらうことが文化資産の保護にもつながると思います。	